

2021年1・2月号

発行/日本共産党龍ヶ崎市委員会  
龍ヶ崎市小柴1-3-13

伊藤えつ子 TEL: 66-6182

金剛寺 博 TEL: 62-7549

日本共産党の見解を紹介します。

# 龍ヶ崎民報

日本共産党発行



日刊●月3497円  
日曜版●月930円

## 困った人にやさしい政治

### 声をあげれば政治はかえられる - 「自己責任」押し付けをはねかえそう

#### 比例は「日本共産党」

北関東比例代表予定候補



大内くみ子 梅村さえこ 塩川鉄也

#### 新しい日本をつくる5つの提案

一部を紹介します。

- ケアに手厚い社会を政府の責任でつくる。医療・介護・障がい福祉・保育など携わる人々の抜本改善、75歳以上窓口負担増・年金削減など社会保障削減の中止。
- 8時間働けばふつうに暮らせる社会をつくる。
- 中小企業と農林水産業の振興を位置づける。
- 大学等の学費を半減し、本格的な給付奨学金を創設する。
- 消費税を5%に減税し、富裕層・大企業に応分の負担を求める税制改革を行う。

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中での新年です。この危機を乗り越えて、安心して、希望を持って暮らせる新しい日本をつくるため、みなさんと力を合わせていきます。

**コロナ危機を打開する根本的転換を**

菅政権のコロナ対策は、無症状者を把握・

今年もよろしくおねがいします。



市議会議員 伊藤えつ子 市議会議員 金剛寺 博

### コロナ危機をのりこえ、希望ある新しい日本をつくる年に

別手当の支給を求めます。中小・小規模事業者への持続化給付金など支援も一度で打ち切る冷酷な態度です。持続化給付金の第2弾をはじめ直接支援の継続・拡充、休業や時短営業を要請するならば十分な補償を行うべきです。

日本共産党は感染集積地を明確にしてその地域の住民や働く人の検査と医療機関・高齢者施設への検査を行うことを求めています。

**「自己責任」押し付けを止め、医療機関への減収補填、自粛と一体に補償を**

政府は、医療機関への減収補填を拒否しているため、最前線で奮闘している医療従事者の離職やポータルの減額などにあつています。医療機関への減収補填、全ての医療従事者に特

#### 龍ヶ崎市内でも深刻な影響

介護施設入所や入院家族は一年近く会うことも出来ず、PCR検査を受けて面会を望む声や、成人式やあらゆる忘年会や新年会が中止となり、飲食店をはじめ、あらゆる業者で事業継続の危機にひんしています。

1月8日には、当市も感染拡大地域の指定を

#### 「道の駅」計画ふくらむ工事予定額 護岸工事新工法は5億円

12月議会で中止となった護岸工事の和解議案の答弁で、護岸工事を新工法で整備すると5億円との答弁がありました。建設予定額は基本計画時の17億円から、令和2年3月議会では、21億円との答弁でしたが、これでも取まらないこととなります。

#### 「仕切直し」と言いながら推進方向

護岸工事が中止となり、計画を見直し、市民の意見を聞くとしていましたが、建物の

実施設計は済み、新工法での護岸工事についても実施設計を進めており推進の方向は変わっていません。

#### 開業しても後世に負担を残す

建設費のうち一部は国が負担しますが大部分は市の負担です。

計画通り年間70万人の来場があっても、建設費の回収も出来ない施設です。建設費が高騰すれば、さらにその幅は広がります。野菜・

物品などの商品も市内だけでは品揃いで出来ず、経済効果も期待できません。

#### 「道の駅」計画は早急に中止を

「道の駅」計画には、調査費や設計費などすでに2億円も費用を投じていますが、今後を考え早急に中止すべきです。



年末の世論調査でも、菅政権のコロナ対応を評価しないが6割7割に達しています。それ

**総選挙で菅政権に審判を下し野党連合政権を**

昨年、みなさんと声をあげコロナ対策でも直接支援の実現、小人数学級の前進などが実現しました。

コロナの先には、安心して希望をもって

受け、ますます深刻です。PCR検査の拡大や中小企業・個人事業者への支援拡大を求め

に加え「政治とカネ」問題が深刻です。今年の総選挙では、政権交代を実現し、野党連合政権をつくることを目指します。



新給食センター建設工事契約 特養リカステの隣に建設 共用開始令和5年9月



「つぼみ園」新設・移転 今年中に八原保育所隣へ新設して移転する。



サプラ2階空店舗に図書館スペース整備(案)が出されています。



暮らせる新しい日本をみんなの力を合わせてつくる年にしましょう。

# 2020年12月市議会

## 一般質問

伊藤えつ子議員



### 新型コロナウイルス感染症第3波への対策強化を求める

**市は**、「PCR検査センター」は、令和3月31日までの予定」と答弁

#### 1. PCR検査の拡大について

感染拡大の抑止には検査数を拡大し、保護、追跡が急務であり、多くの人と接触が多い医療、機関、介護福祉施設、学校、保育所などの定期的検査を求めました。

**市は**、定期検査は対象の範囲、検査期間の確保、財源などで難しいと答弁しました。●感染の封じ込めに、無症状者が増加する中、定期検査をすべきです。

#### 2. PCR検査を必要とする希望者に費用の補助を求める

持病のある高齢者、濃厚接触者ではないが希望する人、仕事上検査が必要な人などが、検査をすれば費用は約2万円から4万円かかります。土浦市は高齢者に対する補助がありPCR検査は自己

負担3000円です。市での補助を求めました。

**市は**、行政検査が最優先であり自費検査の必要性は低いと答弁。

●自費検査の補助は、さらなる感染防止になります。11月25日現在、土浦市、潮来市、筑西市、桜川市が実施。当市でも実施すべきです。医療機関への減収補填については、今後検討するとの答弁がありました。

### 「道の駅」は建設中止を主張

計画状況掲載の市政策情報誌の配布で、市民のみならずから、「コロナ禍の大変な時にまだ建設をしようとしている」「コロナ禍の税収減で財政への影響がある」など新たな多くの声があり、市の施策は市民の暮らし優先で行うべきです。



日本共産党が求めていた護岸工事中止による損害賠償

請求が、護岸工事費用の878万円の4割と牛久沼調査費用を市が負担する市の和解案は、実施設計918万円や、修正設計の取り決めはなく、同事業者に工事設計を続行させるためのものであること。コロナ後の街づくりの視点が求められると建設中止を主張しました。

## 一般質問

金剛寺博議員



### 新型コロナウイルス対策独自の事業は、交付金の全額活用を求める

臨時交付金を活用した市独自事業で、予算残となる事業は、組み換えをして、一般財源繰入も含め、全てコロナ対策に使い切るよう求めました。また組み換えした新規事業の中には、庁内の備品購入等に充てられているものもあり、PCR検査や苦境にある中小企業・個人事業者を支援する事業を拡大するよう求めました。

**市は**、交付限度額については、全て充当できるようにしたい。一般財源については、今後の収支状況を注視し、財

## 令和2年度コロナ対策予算内訳

(金額単位:億円)

	総額	国支出	県支出	その他	市支出
定額給付金	77.2	77.2			
国補助事業	3.7	3.3	0.2		0.2
市独自事業	10.3	7.9	0.8	0.3	1.3
合計	91.2	88.4	1	0.3	1.5

政運営に適切に対応していく。交付金の活用については幅広い視点で実施しているとの答弁。

### 新たな中小企業・個人事業者への支援を求める

新たな感染が広がる中で、衛生管理は長期に継続することになり、全ての業種で消毒薬品や飛沫防止、換気扇など負担は大変です。また国の事業化給付金を受けた事業者でも、電気、上下水、リース代等の固定費ですぐなくなつたと言います。これらの内容に補助を実施している自治体もあります。感染予防設備導入費、固定費の補

助制度創設を求めます。

**市は**、衛生管理に用途を限定する補助についてはその必要性を見極め検討。固定費の支援については、今後の感染状況、地域経済の動向を踏まえ検討するとの答弁でした。

### 農耕車優先道路標示看板の新設が実現

土地改良事業により整備された道路が、抜け道や散歩道

として利用され、利用者の多くは、土地改良事業による道路であることを知らず、農繁期に作業の支障をきたすと、設置要望があります。新設を求めます。**市は**、地区から依頼があれば看板の作成、修繕を行いますと答弁しました。



## 「安心安全な教育環境のための少人数学級を求める陳情書」不採択

### 日本共産党は採択に賛成

新型コロナ拡大の収束が見えないいま、子どもたちに安全・安心の教育環境を整えることは保護者と教職員、地域住民の願いです。子ども一人ひとりを大事にできるのが「少人数学級」です。また文部科学省の言う学校の新しい生活様式では、席の間隔を最低1メートル程度開けることを必要としており、現在の40人学級では無理です。

政府は、昨年12月に小学校全学年に5年かけて35人以下学級を導入すると発表していますが、中学校は対象にしておらず不十分です。国の制度を更に充実させ少人数学級の早期実現のためにこの陳情採択が求められます。

### お気軽にご相談を

#### 無料法律相談

- ◆日時/ 2月24日(水)/3月23日(火) 午後1時~4時
- ◆ところ/ 昭和会館(佐貫)
- ◆連絡先/ 伊藤えつ子 66-6182 金剛寺博 62-7549

その他、新型コロナウイルス等での困りごともお気軽に相談下さい。